

南砺市産業振興会議 会議録

1. 開催日時 令和5年7月7日(金) 午後3時30分～午後5時15分
2. 開催場所 南砺市役所 別館3階大ホール
3. 出席者 委員12名
川合委員、山田委員、丸山委員、藤井委員、浦井委員、石川委員、
森岡委員、土井委員(代)、小林委員、長谷川委員、本多委員、岡部委員
4. 欠席 委員2名
嶋田委員、山川委員
5. アドバイザー 増川氏(尾山氏 欠席)
6. 傍聴人数 0名
7. 次第
 1. 開会挨拶(市長)
 2. 委員委嘱
 3. 委員紹介
 4. 会長選出
 5. 会長挨拶
 6. 議事
 - (1) 主要施策の取組方針について
 - (2) 商工振興事業について
 - (3) 企業立地雇用推進事業について
 - (4) PLAY EARTH PARK 構想について
8. 閉会挨拶(部長)
9. その他

市長挨拶	新型コロナが第5類になってコロナ明けですぐ景気がよくなる業種とそうでない業種がある。ロシアウクライナの影響も経済にダメージを与え、大変な状況であることには変わらない。そのような中「Go To Nanto 飲食店」がスタートし「なんちケ」も控えており、市内経済の循環に取り組んでいる。昨年策定した企業立地戦略のプランに沿って企業誘致、市内企業の活性化に取り組んでいるが、企業の声はリクルートが大変だとか人手不足、運輸業界の2024年問題など不安に思っている企業が多い。どのような支援ができるか、できることはすぐに手を打つ。ゴールドウイン(以下「GW」)の構想はかなり地域活性化が期待できる。東海北陸自動車道4車線化、利賀ダムも地域が潤うように、皆さんと一丸となって様々な難題を克服すべく取り組む。委員それぞれの立場からご意見をいただき、施策に反映していきたい。
------	---

次第 2～4 省略	
事務局	アドバイザーについての説明と紹介。
会長選出	川合委員を会長に選出。
会長挨拶	具体的な施策について、皆様からご意見を聞きたい。活発な意見交換をお願いしたい。
会長	会長の職務代理について、石川委員を指名。
全員	(拍手)
事務局	議事(1) 主要施策の取組方針について説明
事務局	議事(2) 商工振興事業について説明
会長	メニューがたくさんあるので、気になることとか、こうしたほうがいいのかということをお聞きしたいが、ご理解していますか？継続して行っているものはご理解していると思う。いろいろ事業を組み合わせ形になっているが、ご意見は？委員、なんチケの状況はいかがか。
委員	参加店の募集は締め切ったが、なんチケ販売終了日まで募集している。市からも補助があるので、この機会に利用していただきたい。
会長	どれくらい参加しているか。
委員	653 店舗です。昨年より 20 店舗増えている。回を重ねるごとに増えている。加入も売上も増えている。食事券は同時進行で行っており、今月中には完売するのではと思っている。
会長	「南砺の逸品」は継続していますが、進行具合は？
事務局	EC サイトは売上、PV 共に増加している。今年度は第 2 期事業として商品を募集し直し、新たに「南砺の逸品」として登録した。前回の 1 事業者 2 品までという制限を今回はなくし、消費者目線に立った売り方ができるようになるので売上増を期待している。
会長	この中で「南砺の逸品」に参加している方は？委員、「南砺の逸品」についての意見は？
委員	地域の名産品の販売は各自治体がやっており、干柿は南砺市、富山県などで売っており、パッケージがマークだらけでデザイン的に困っているが推薦されることについては問題ない。特に私たちの組合は 11 月・12 月だけの生産販売の組合なので、短い期間だが、今年の事業計画では売店、ネット販売で 1 億円を目指している。昔は 3 千万～5 千万円だったが、今は産地に直接お客様が求めにいらっしゃる。他の自治体に負けないようにやっていくべきではないか。
会長	現地にとということで、干柿体験が盛り上がったとお聞きしたが。
委員	昨年から市の協力で 2 ヶ所でイベントを行った。桜クリエで 2 班の体験をして、参加者からは好評だったので継続してほしいという意見があった。もう 1 つは日本橋とやま館で干柿の糸つなぎの体験教室をした。東京の市

事務局	<p>場では富山干柿のブランド力は他の産地の引けを取らない。トップのブランドとして競っているので、お客様の反応が良かった。自分で原料の柿に触ると後々のリピートなど購買意欲がわくので良いと思った。ただ、繁忙期にやらなければならないので、リモートで講師をしたが、それでも好評だったということは市の取組を評価したい。</p>
事務局	<p>桜クリエに体験用の皮むき機等がおいてあり、小学校の干柿づくり教室を桜クリエで行う中で、ある小学校は対象の学年を上げて、作るだけでなく作ったあとの商売も勉強したいということになっている。</p>
委員	<p>それについては、5月に吉江中学校で、校長先生から、生徒は干柿が世界に輸出されていることに興味を持っているので取組状況を話してほしいと言われた。生徒の皆さんは熱心に聞いてくれた。感想文も書いてくれたが、ポイントを捉えていて大変良かった。</p>
会長 委員	<p>委員、クラフトバレーについては？小松も入っているわけですが。 出展したい方は通訳とか翻訳は、例えば市とか各自治体でフォローがあるのか。大きな会社だと英語やその他の言語に長けている方がいらっしやると思うが、小規模中規模の事業者でも海外に挑戦したいという方を支援するものがあればいいと思う。</p>
事務局	<p>言葉の問題については、現地のスタッフが通訳・翻訳してくれた。ボランティアで関わってくれている方も多いので問題ないと思われる。</p>
委員	<p>去年はポップアップストアだが、今年はバイヤーを交えてということなのでそこが気になっていた。</p>
会長	<p>輸出関係はどんな感じですか。</p>
事務局	<p>飛騨市の酒が商談成立した。南砺市でも成功例をあげたい。お酒は輸送など難しいが、海外輸送も含めてチャレンジしてほしい。</p>
会長	<p>それでは次の議題について説明してください。</p>
事務局	<p>(3) 企業立地雇用推進事業について説明</p>
会長	<p>この説明についてご質問は。</p>
委員	<p>インターンシップを開催して、交通費の支給は？</p>
事務局	<p>企業側で参加学生の旅費を負担されることがあるが、そちらを対象に支援をする。インターンシップの開催に取り組んでもらおうとしているが、来年は実際にインターンシップを実施していただくので、こうした補助を活用していただき、来年はどんどん学生に参加してもらおうことを目指している。</p>
委員	<p>奨学金の返済支援制度について、これに関して具体的に広報活動はされているか。</p>
事務局 委員	<p>4月に暮らしません課と合同説明会を開催した。あとはHPでの周知実施。中小企業のリクルート担当者は学校の個別訪問をやっているが、せめて南</p>

事務局	<p>砺市から通っている高校とか、高校のOB会、富山県、石川県の大学の就職支援課とかには、少なくとも個別でアピールするだけで相当違うと思うので、それを考えていただくとより効果がでるのでは。</p> <p>おっしゃるとおりで、県西部を中心とした高校と、昨年度大学を訪問した時にこの補助金については事前に紹介した。資料配布時期が悩ましく、今年度については、就活が始まっているので、タイミングはいつがいいか関係者と相談して効果的な時期に周知を図りたい。</p>
委員	<p>就業環境整備事業の中でできるかわからないが、南砺市で健康経営優良法人の中小企業がすごく少ない。富山県にそもそも少ない。これに関して取得したい事業者がより取得しやすくなるような支援ができないか。例えば商工会議所が取っているところがある。どこかが取ってモデルになって展開するとか、支援事業の一環で、このパッケージでやれば健康経営優良法人の認定の資格がもらえるというのがあるといい。例えば、従業員のコミュニケーション促進もそうで、年1回口腔衛生を従業員向けにやると丸がつく。市内の歯医者と提携するとかするとやりやすい。あとは、井波のアイウエーブのような団体に対して情報を流して、従業員のコミュニケーションの一環として体育館で体を動かすとかできる。その補助金がでるといふアピールをすればああいっただ団体も事業として動きやすいし、いろいろははたらきかけができるのではと考える。</p>
事務局	<p>健康経営優良法人ですとか、子育て応援企業に認定されていればその補助が受けられるということだが、逆に健康経営優良であるとか、子育て応援企業になると魅力が高まるということなので、市の子育て応援企業になっているが、次の県なり国のステップアップで魅力を高めるにはどうすればいいか。そういった認定を目指して支援をしていくのは必要だと思っているので、検討していきたいと思う。</p>
委員	<p>認定されている企業は意識が高い企業で、そういう企業が増やせたらよいと思う。</p>
会長	<p>健康経営の話になったが、これについて金融機関さんのご意見は。</p>
委員	<p>健康経営だけではないが、人材確保につながっていくが、私どもはコンサルティングもしていて、人材確保するために企業価値を高めることを考えたときに健康経営然り、福利厚生をもう少し良くするための伴走支援のコンサルティングをやっている。人材確保・人材活用支援事業が10社決まったということで、支援期間が7月から12月でこれからの事業計画を作るところまで。この事業が終わったあとで金融機関と連携するとか、そういった使い方もあるかもしれない。</p>
会長 事務局	<p>市で現状について、出向いてヒアリングなど現地調査をやっているか。</p> <p>市内企業には順次時間がある限り訪問させていただき、制度を説明するの</p>

	<p>と、今年の採用人数を聞いたり、どのように高校を訪問しているとかヒアリングしている。訪問して感じるのは、高卒を採用する企業は砺波工業と高岡工芸に募集をかけて、たまたま南砺市出身の生徒さんがいればたまたま入社し、そうでなければなかなか採用できないという状況。それ以外の高校に募集をかけられないか、金沢が通勤エリアになると思うので、金沢の高校や大学に制度の周知を含めて市も訪問したいと思う。人口規模が大きいエリアなので、なんとか南砺市にも魅力がある企業がたくさんあるということを知っていただき選択肢にしてもらえるようにしていきたい。皆さん情報はインターネットで収集するので、「なんとジョブ」という就職支援サイトの広告を実験的に打ちたいと思っている。全国に向けてがいいのか、金沢の高校生世代がいいのか、実験的に実施する。見せ方も、ただ「なんとジョブ」では見てもらえないので、工夫しながらなんとか金沢の若い方から選択肢としてみてもらえるように取り組んでいきたい。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>大学の委員がいらっしゃいますが、生徒の南砺の企業の知名度などは。今の4年生の半分くらいは内定が出ている状況で、本大学の場合は3割が富山県出身。金沢南砺のバスを見ていると20人くらいは南砺から通っている。今皆さんのお話を聞いていて、給料よりも福利厚生に学生たちの目が向いている。その福利厚生は一般的なもので、産休が取れるとか、週休二日ないし、31日あれば8日休めるとか、本当にごく一般的なもの。それが揃っていればホワイト企業で、そうでなければブラック企業で。あとは事務所がきれいとか、本当にわかりやすいところに目が向いている。仕事はこれじゃないといけないとか、ここの企業じゃないといけないところまでいっていない。奨学金が返済できるのかは非常に気にしているので、金沢は通勤圏内でもあるので、学生たちと市の事業者さんが接点を持てるような仕組みというのが、今いろいろ企業フェアとか就職フェアがあるが、それ以外にもあるのでは。石川県は同友会のようなところが、チャレンジワークショップのようなものやっていて、石川県内の20社くらいと大学のゼミがコラボして、うちの会社はこういうことが困っていると、PRしたいが動画をどのように撮ればいいのかとか、課題を企業から与えてもらい、それに対して半年なり授業として取り組む。それが就職に結びつくかはわからないが、南砺市にそういう事業者があつて、そういう事業者とやりとりして楽しさとかひとつのきっかけになればよい。</p>
<p>事務局</p>	<p>金沢はターゲットにしたいと思っていて、先ほどの広告も含め積極的に宣伝していきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは次の議題の説明を。</p>
<p>事務局</p>	<p>(4) PLAY EARTH PARK 構想について説明</p>
<p>会長</p>	<p>女性の委員の方はこれについてどのように考えていますか。</p>

委員	<p>福利厚生がしっかりしている会社なので、女性の方の働き口が増えるのではと予測している。心配なのは某市で大型店ができたことによって市内が寂しくなったという話が聞こえてきている。そのようなことにならないか不安がないわけではない。その辺について、南砺市全体で盛り上げる形になればよい。最近キャンプが流行っていて、キャンプをしたいが詳しい情報がわからないという方に対して、特に女性のキャンプも流行っているので、情報を発信できればよい。</p>
委員	<p>私の主人は南砺市の魅力は自然豊かなところで、子ども達が自然豊かなところで育つことができるというのを発信していけると移住者の方が来てくれるのでは、と常々言っているので、この構想はよいと思う。子供は自然に触れて心も体も成長していくので、南砺市の子どもたちもそうだが、金沢とか県外からたくさんきていただければよいと思う。</p>
委員	<p>ビッグなプロジェクトで、また南砺市に自慢できる施設ができてうれしいと思う反面、観光客がそちらだけに行ってしまうのではということも一方では思ってしまう。収益事業はどのようなことをするのか。</p>
事務局	<p>実は非公開な部分が多い。入場料的なものも現在検討中で、現在ははっきりと言えない状況。いえるようになればしっかりと情報発信していく。</p>
事務局	<p>毎週1回以上GWと協議している。皆様からお伺いしたご意見をしっかりとお伝えして事業に反映させていきたい。</p>
委員	<p>商工会として、この中に商業施設ができるかというのが気になるところで、お店とか飲食店がこの中にできたら周りの商店が困るのでは、というのが気になるところ。先日ラコリーナクラブハリエの見学をしてきたが、大自然の中のおしゃれなお店にすごくたくさんの観光客が来ていて、あそこだけがすごく賑わっている感じだった。ここももちろん賑わってほしいが、やはり周りの商店が気になるところではある。</p>
委員	<p>南砺市には他にもキャンプ場がある。コンセプトが被っていて、今限られた経営資源で頑張っている事業者さんたちの客を奪うのが懸念されるのでうまくやっていただきたい。</p>
会長	<p>こういうようなものができる所の影響はどのようなものか。</p>
アドバイザー	<p>GWの話は本当に喜ばしい話だと思う。GWがいろんな所を見て、結果、南砺市を評価したところが、間違いなく南砺市をこれから盛り上げる他とはちがう地域なのだということをPRできる。南砺市でキャンプをしたいというニーズがもっと高まることで、まわりのキャンプ場も付加価値をつけたり、魅力あるキャンプ場になるようにお互いに切磋琢磨するともっと素晴らしくなると思うし、ここに人が遠くから集まるということは外国の方も間違いなく来る。周遊する機会をお互いに上手に使っていくことが第一で、それをチャンスと見て捉えていくほうがずっと大きな魅力がある。</p>

	<p>間違いなく人が集まるし、観光業としても魅力を発信するべき。せっかくなので、遑って発言します。今ふるさと納税1番は都城市の200億円で、ほとんど黒霧島。酒の需要はもともと世の中にあるが、なぜ購入するかという部分を上手に磨いていくと、南砺市も酒蔵が3つあるが、小さく目指すのではなく、大きなところを酒蔵とトライしていくところで回収できる。都城市は200億円を土台に工業団地開発を次々とやっている。また、人の採用に関しては、全国的にコロナが明けて大手企業が人の採用を増やしていく中で、人口減、高校生の進学率が更に高まり、絶対数が減っている。その中でどうやって自分の企業に若い人を採っていくかは地域を挙げて取り組む話であって、こういうような取組は今後ますます進めていただければと思うし、できれば実績や成果が、次のこういった場できちんとご紹介できる形になればよいと思う。積極的にやっている自治体として、北九州市は他県の大学や高校をまわって、企業が同行して就職担当や先生に会わせている。先生は企業と関わる事が無いので、先生と企業がきちんと会う機会を作ると、生徒に安心して紹介するという話になるので、そういう機会を行政が取り組むとよい。遠慮していると何もできないので、是非他市他県に乗り込んで行ってほしい。</p> <p>あと、企業立地戦略をHPに載せ、企業が市の取組を簡単に検索してわかるようにしてほしい。</p>
事務局	<p>成功事例を作ってそれをもとに市内企業に伝えていきたいし、他県他市といわれたとおり、やはり金沢市に取り組んでいきたい。HPについては至急対応する。</p> <p>GWは決して自分たちだけとは思っておらず、共存共栄で、GWが来ることによって市内全体が良くなるようにと考えている。キャンプ場の話もあったが、市内には閑乗寺や利賀もあり魅力的なところがたくさんある。まず、PLAY EARTH PARK（以下「PEP」）に来て、次の日は閑乗寺や利賀、それだけでなく、スキー場もたくさんあるので、観光の流れを把握して市内全域に効果が出るように事業を進めてもらいたい。皆さん様々なご意見があると思うのでどんどんお聞かせいただきたい。</p>
会長 委員	<p>PEPのことも含めて、これまでの全体通してご意見ありますか。</p> <p>「南砺の逸品」については、富山県のいきいき物産を活用してもっとPRをした方がよい。クラフトバレーについては、南砺の酒を扱う会社は海外に出たいというニーズがある。ふるさと納税については、先日企業版で南砺市と北陸銀行が連携協定を行い、南砺出身の県外で頑張っている会社に南砺市の良さを理解していただき、ふるさと納税をすすめていきたい。聞いた話だと、若い人が採用できないのではなく、採用できているところはできている。その差はやはり、福利厚生や人事制度などを書面化していた</p>

委員	<p>り、退職金の方向づけをしっかりとっている会社に若い人が入ってきているという印象がある。今回外部専門家で補助金が出るが、多分、実際本気でやるならばもっとお金がかかる。奨学金返還支援については NHK の全国版ニュースで見た。NHK はすごく PR になる。PEP については、情報統制が必要かと思われる。東京石動福光でいろいろ話をしている。南砺だけが生き残るのではなく、地域として活性化できないか。中部圏でも先行できるまちづくりのチャンスがきている。</p> <p>昨日創業サロンを5名の参加でスタートした。その中でアンケートをとると、助成金がこれだけあっても知られていない。製造業を創業される方がいろいろ探していたが、企業立地助成金もそうだが、金額ではなく、助成率を上げる政策を考えられないか。アンケート結果は共有させていただく。GW の件は、規模感的に違うが、スノーピークが三条市で日本一予約の取れないキャンプ場をやっている。人の出入りがあり、それがきっかけで昔は無かったが燕三条のラーメンが非常に人気で行列ができる店がたくさんできてきた。GW 自身は今回の進出にあたっては、そこで儲けるのではなく、自分たちの企業価値を高めるため。アドバイザーが言われたように、それをチャンスとしていただきたい。チャンスと捉えて自分の企業を磨いていく企業をサポートしていく施策が必要だと感じている。</p>
会長 委員	<p>最後に他にご意見ありませんか。</p> <p>人材確保のところ、若者女性採用が主に言われているが、我々宿泊業は小さな事業者がたくさんあって、固定で働いてくれる従業員を採るのは難しい。全国旅行支援が早いうちに終わってしまって、予約がだんだん少なくなってきたが、営業していかななくてはならない。少ない人数でどう回していくかということだが、一方で若い女性を支援していくということで、若い女性は頑張ってくださいで大変いいことであるが、私どもは年齢層の高い方に手伝いに来てもらっている。今まで来てくれていた（年齢層の高い）方が、若い女性が小さなお子様をもっていらっしゃるので、孫の子守で手伝いに行けないという方がものすごく多くギャップを感じている。では、ある程度の年齢の方に会社が終わってから手伝いに来てほしいというと、会社が人員不足のため残業で行けないと言われる。暇な時間を使って、来ていただきたいと思っているターゲット層の相談は受け付けてもらえるのか。</p>
会長 事務局	<p>現場の話で、意見のレベルで結構だが、いかがか。</p> <p>人材確保は、若い方や女性だけでなく、高齢者の方や、今は事情があって働けないが、仕事に復帰したい方はたくさんいらっしゃる。そういった方をつなぐ支援機関が県にある。県よろずやプロフェッショナル人材拠点などにおつなぎしていきたいと思うし、金融機関でも人材、経営改善含めサ</p>

<p>会長 事務局 委員</p>	<p>ポートしたり、コンサル部分もあるので、そういったところにおつなぎするとか、身近な窓口として市役所に相談いただければと思う。</p> <p>人生100年時代ですので、うまくマッチングしてほしい。</p> <p>シルバー人材センターの活用も。</p>
<p>委員</p>	<p>孫の子守で働けないということは、お母さんが働いているということで、根本的に働いているお母さんが子供を預けて安心して働ける状況が根底にあればこの問題はなくなる。サロンで働いていた時に子供を連れてサロンに勤めていた。託児スペースではないが、同僚が面倒をみてくれた。資料3-1のチラシにあるとおり託児スペースの設置は重要であると思う。あとは、従業員への周知など、子どもを連れてきても邪魔だと思われぬ雰囲気を作るとか、子どもはどうしても風邪を引くとか熱を出すので、会社を休まなければならない状況できちんと休ませてもらえるシステムになっているかどうか重要。</p>
<p>委員</p>	<p>今日この時間がまさに子どもの習い事と重なっていて、ファミサポというサービスを利用した。核家族でも安心して子育てができる環境を南砺市でも。すごく整備されているのは知っているが、一番かゆいところに手が届いていない部分が利用できれば、若い世代子育てしやすい地となるので、課がちがうと思うが協議していただけると嬉しい。</p>
<p>会長</p>	<p>最後に非常にいい意見がでましたし、ここでちょうど時間となったので、進行を事務局に返します。</p>
<p>ブランド戦略 部長挨拶</p>	<p>長時間にわたりご意見をいただきありがとうございました。今後の施策に反映していきたいと思う。本市にとってPEP、利賀ダム工事、北陸新幹線敦賀延伸での旅行需要がかなり大きなチャンスでこの1～2年が勝負。この3つのプロジェクトを市民の幸せにつなげるのが我々行政の事業。その事業が正しいかの検証を産業振興会議で監視していただきたい。</p>
	<p>閉 会</p>